

登録コード	E8467400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	井田 秀行
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				生態学的な見方、考え方ができるようになる		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				生態学的な研究論文を執筆する		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	・地域の自然環境の見方、調べ方、伝え方に加え，自然環境を保全するための対策方法を講じるうえでの基礎的手法を習得する。						
(5)授業計画	地域の生物多様性の保全，健全な生態系の維持と再生，自然保護，地球環境問題など広義の保全生態学の課題にこたえることを目的とし，生態系生態学，景観生態学的な研究アプローチによる調査，研究を実施し，論文を執筆する。 ・基本的な野外調査の仕方.....野外調査の仕方（植生調査，毎木調査，各種環境測定，植物の同定の仕方） ・理論的に考え，文章にまとめる能力.....まとめる能力（英語論文の読解と，論文の執筆） ・自然観察時等におけるインタープリテーションの能力.....プレゼン能力（話し方，企画のノウハウ） 週1、2回のペースでの個別指導を基本としながら論文執筆技術を身につける。 野外調査は集中的指導で行う。						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は，次の通りである。 ・卒業論文80％とする。内訳は以下の通り。 ・「科学的な見方考え方が出来るようになった」かどうかを測る（30％） ・「自分の論文の論理構成に必要な情報を先行研究から読み取る」力を測る（25％）。 ・研究手法・内容の基本的理解ができたか確認する（25％）による。 ・学外での発表経験では，専門的な内容をアカデミックな場で解説する力を測る（20％）。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	随時，参考資料等を提示し，予習または復習しておくべき箇所を指定する。この授業は225時間の学修を必要とする内容です。従って，150時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	・フィールドワークが主体となる。 ・パソコン技術（ワード，エクセル，パワーポイントその他統計ソフト）は必須。 ・卒業論文の内容に関する研究発表を学外（学会・研究会等）で1回以上，行うこと。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	質問や相談は原則，授業内で確認するようにし，解決できなかった場合は，随時W319に来るか，pida shinshu-u.ac.jp（ を @ に置換）にメールする。						
【教科書】	指定しない。個人の興味や研究対象に応じた教科書を指定する。						
【参考文献】	指定しない。個人の興味や研究対象に応じた参考文献を指定する。						